

東中だより



No. 5

文責：高橋 泰

修学旅行を終えて ～櫻希愛（たすけあい） 笑っていいとも！みんないい友～

6月7日(火)から9日(木)の3日間、3年生が修学旅行に行ってきました。出発前に東海地方が梅雨入りし、雨が大変心配されました。しかし、結局雨が降ったのは3日目の自然体験を終えた後でした。帰路の道中に雨は降りましたが、帰着式を行う頃は雨も上がり、暑くもなく寒くもない過ごしやすい3日間でした。3年生の目指す姿は、5分前集合、しっかりとしたあいさつ、自分たちで考え自ら率先して行動して成し遂げること。159名全員参加で、学年目標「一人一人が楽しみながら、成長できる修学旅行を目指して」をしっかりと意識できた3日間となりました。帰着式では、修学旅行の中心になって企画をお手伝いしてきた神谷美里先生に感謝の意を伝えるサプライズ演出もありました。3年生は、今後の体育大会や東中70周年記念事業をはじめとする学校生活を中心になって推進していく学年です。今後の活躍がとても楽しみになる大きな成長を感じる修学旅行となりました。

校長レポート 一日目

新幹線乗車時に降っていた雨は東京ではやみ、ほとんど傘のいらない3日間のスタートになりました。東京駅で解散し、班別行動に入りました。今年も、事前に生徒自ら訪問先に連絡し、しっかり調べ学習をし、その内容をレポートにまとめ報告することを目的にしました。訪問先には、世界遺産登録で話題の西洋美術館や東京証券所、宇宙ミュージアムなど約30箇所。36の班に分かれ、それぞれのテーマに即して調べ学習を進めました。私が訪ねたのは東京スカイツリー。本校にある彫刻「TO THE SKY」の作者澄川喜一氏のデザイン監修による建築物を久しぶりに訪



ねました。サッカーミュージアムを訪れた班は、偶然にも現在解説者の北澤さんに遭遇。お話もできたそうです。班別学習を終え、ディズニースーに集結しました。今年は開設15周年。記念イベントのショー『クリスタルウィッシュジャーニー』も見ることができました。いくつかの人気アトラクションは待ち時間が60分ほどですが、その他は10分ほどの待ち時間。思いのほかたくさんのアトラクションを体験できたようです。スリル満点のセントオブジァース。最後のショー。たくさんの思い出とお土産を胸に、ディズニースーを後にしました。



校長レポート 二日目

朝目覚めれば明るい曇り空。心配された雨もなさそう。朝食はテーブルバイキング。並ばずゆったりと食べ、国会へ。ここでも5分前行動が功を奏し、予定より随分早く国会に到着、地区選出の衆議院議員大西健介氏のお世話で衆議院本会議場などを見学しました。国会議員になろうと思った経緯



等いくつかの質問にお答えいただきました。

国会で解散してクラスタイムに突入。私は1組に同行して定番の浅草寺ともんじゃ焼きへ。店では、4人1組でもんじゃ焼き、お好み焼き、焼きそばを、1人1.5人分をガッツリいただきました。浅草雷門が修復中で、今までにない姿を目にして驚きました。

4組はボルタリングに挑戦。3mほどの壁登り。クラス全員がマークの岩を必死につかみ、壁面にしがみつく。次々に難所にチャレンジ

していたようです。何やら家の壁にはりつくヤモリのようなものでありました。

そして、各クラス山中湖に集結。入村式の時、一瞬富士山が顔を出してくれました。



民宿に入って、まずはほうとうづくりに挑戦。民宿の方に手解きをいただきながら上手にできました。夕食に美味しくいただきました。



校長レポート 三日目

退村式で、民宿の方々にお世話になったお礼を残し、富士山麓の自然体験へ。パラグライダー、ラフティング、マウンテンバイク、ポッカール、酪農、乗馬、とんぼ玉の7種類。私が付き添ったのはパラグライダー。朝霧高原の雄大な自然の中、気持ちよさそうに空に舞い上がりました。はじめは足が地面から離れるたびに腰が引ける場面もありましたが、30分も経たないうちに120mのロングフライト続



出となりました。爽やかな曇り空の中、どの班もやりきった表情。雨を心配せずに満喫できました。

昼食は、カうどん、魚フライなど、結構ガッツリ。食べ終えた頃、突然の通り雨。この修学旅行で初めての雨らしい雨でした。3年生一人一人が楽しみながら、成長できた修学旅行「穠希愛 笑っていいとも！みんないい友」でした。



修学旅行を振り返って

出発し、バスの中では曲ののってみんなで盛り上がるなど、クラス全体の修学旅行への期待度が高まっていました。東京に着いて、ビルや道や電車の路線の多さ、そして何より人の多さに驚きました。都内班別行動では、スヌーピーミュージアムに行き、海外からのキャラクターを愛すNIPPON♡あいを感じました。ディズニーシーでは、数回しか経験できない夢の国を満喫しました。2日目の国会議事堂では、その広さや大きさ、高級なつくりにとっても驚きました。また、まわりの各省の多さにも驚きました。クラスタイムのボル

面川 真由 (3-4)

タリングでは、何回も挑戦して高いところまで登っている子のあきらめない強い気持ちに憧れを感じました。民宿では、みんなで協力して食事の準備や片づけをしたり、みんなで机を囲んで食べたりしたからこそ、おいしいご飯になったんだと思います。普段話さない子と話せたり、仲が良い子ともしっかり仲良くなったり、クラスの絆も深まりました。私は、修学旅行の中で、助け合う場面がいろいろと見られたと思います。この深まった絆を、これからの体育大会や文化祭などの学校行事でも活かしていきたいです。

修学旅行を振り返って

一日目、一番心に残ったのは班別学習です。僕たちの班は、ガチャポン会館に行きました。そこには、約500台のガチャガチャがあり、その大量のガチャガチャがとてもきれいに整頓されていて、見ていてとても気持ちが良かったです。今まで僕は将来の仕事をありふれたものしか考えていませんでした。しかし、ガチャポン会館の店長さんがガチャガチャが好きだから店を始めたように、少し変わった自分の好きなもの仕事をするのもいいと思いました。だから、今好きなこと、バスケや空手を続けて、夢を見つけていきたいです。

二日目のクラスタイムでボルタリングをやりました。ボルタリングは登って、落ちて、登って、落ち

白井 大地 (3-4)

てを繰り返して、腕が筋肉痛になりました。でも、普段やらないことを体験してとても楽しかったです。

三日目、心に残ったことは、マウンテンバイクです。いつも通学で使っている、移動手段である自転車が、山を走るだけでこんなに楽しいとは思いませんでした。

この修学旅行で初めて実行委員長という役目をしました。自分が先にやるだけじゃなく、みんなと一緒にやらせること、まわりを意識して行動しなければならないことが大変でした。しかし、修学旅行が終わって、何かとてもグッときて、達成感が沸いてきました。この経験を活かして、トップの人が困っていたら助けてあげられるようになりたい。